

科目名	歴史学 B	科目コード	40466
-----	-------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	田中 聡（一般教育科）
単位数・区分	履修単位科目・1単位・選択
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	なし
補助教材	プリント
参考書	池上彰著『そうだったのか日本現代史』（集英社文庫），ジェームス・M・バーダマン著・樋口兼一郎監訳『日本現代史』（IBCパブリッシング）

【A．科目の概要と関連性】

明治・大正・昭和の日本の歩みを概観し，21世紀を生きる日本人としての素養を培うことを目的とする．講義に衝撃映像をまじえて基本事項を解説する．

関連する科目：歴史（1・2年次履修），歴史学（前年度履修），歴史学 A（前期履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
明治・大正・昭和の日本の歩みを理解する	80%	a 1
授業で解説された事項について，意見や感想を持ち，それを表明することができる．	20%	a 1

【C．履修上の注意】

1・2年次に使用した世界史 B・日本史 B の教科書などで、明治・大正・昭和の基本事項を整理しておくことが望ましい．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（70%）【内訳：期末70%】

その他の試験（0%）

レポート（0%）

その他（30%）【コメントカードの提出】

【E . 授業計画・内容】

後期

週	内容	備考
1	日本の敗戦	
2	「私たちは忘れない」	
3	占領下の日本	
4	占領下の日本	
5	「東京裁判」	
6	独立の回復	
7	日本の自立と経済成長	
8	日本の自立と経済成長 - 1	
9	「60年目の対話 - フィリピン裁かれた対日協力者たち」	
10	日本の自立と経済成長	
11	日本の自立と経済成長	
12	現代の世界と日本	
13	現代の世界と日本	
14	「沈黙の歴史をやぶって - 女性国際戦犯法廷の記録 - 」	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	田中家で見える日本近現代史	